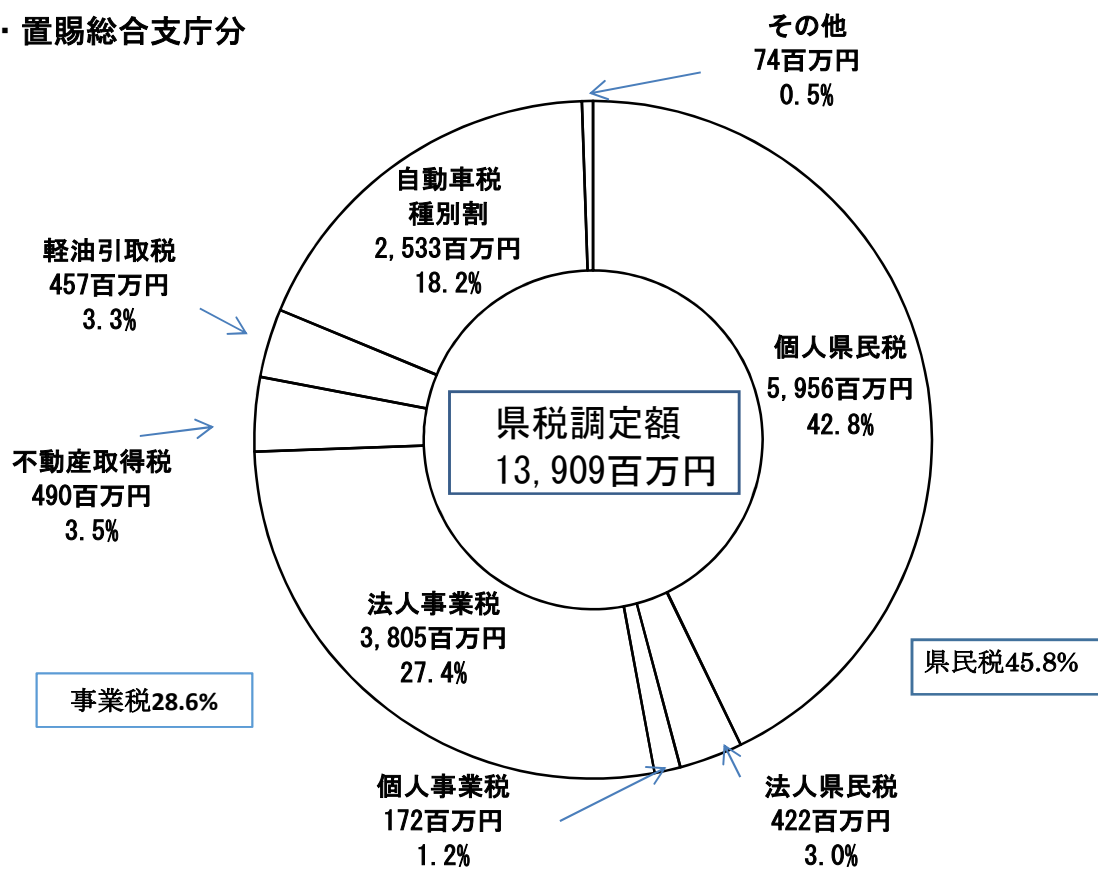


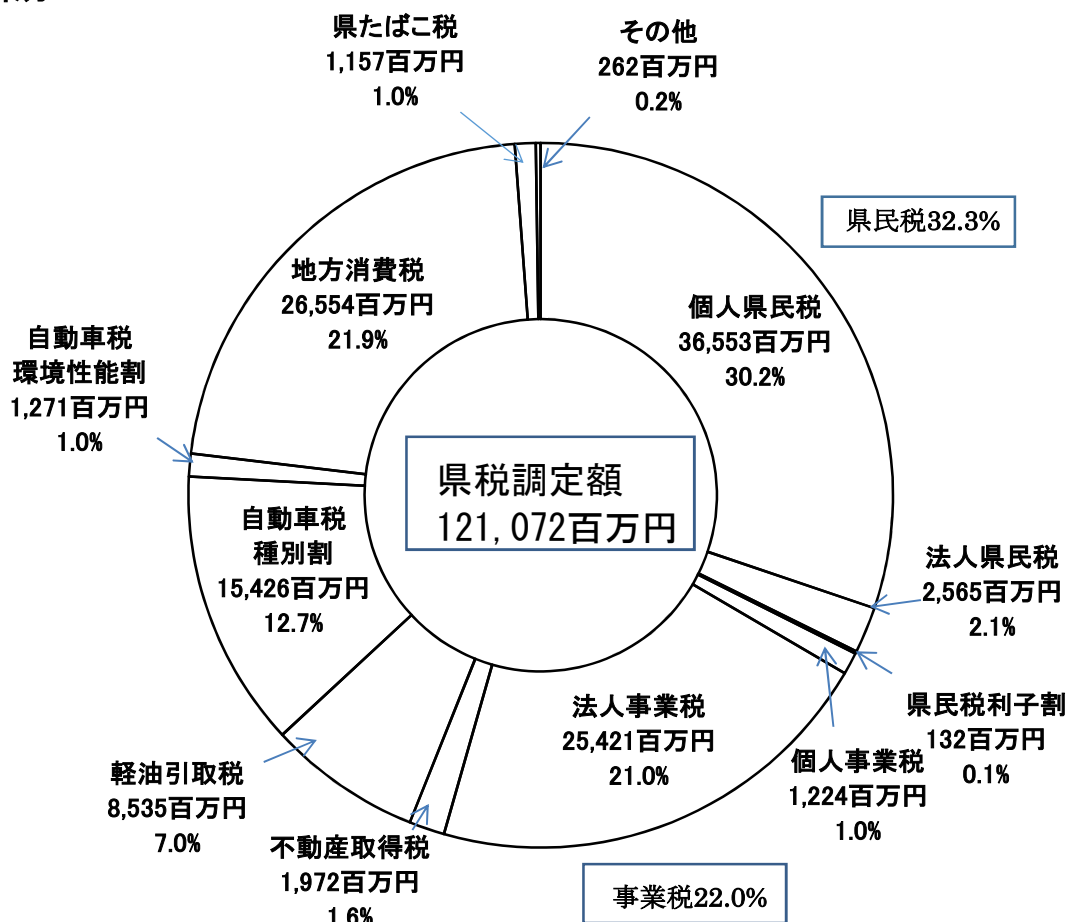
14 県税の状況

◇県税の状況（現年度分 税目別 令和7年3月31日現在）

・ 置賜総合支庁分



・ 全県分



15 置賜地域各市町の行財政と将来ビジョン

【米沢市】

先人たちが育んできた豊かな精神文化を継承・向上させるとともに、学園都市が持つ機能を最大限活かして、未知なるものへの果敢な挑戦を行い、それが創造を生み、そしてまた新たな創造につながるといった連鎖を起こすことにより、ひと（市民）が輝くまちを目指す。

1 財政の状況

（単位：百万円、％）

5年度 決 算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	44,261	42,598	1,663	1,586	92.6	36,920	8.2	20,406	0.57
当初予算額（一般）			令和7年度		令和6年度		前年度対比		
			50,640		44,030		1.15		

2 行政方針

【長期計画における目標】

○米沢市まちづくり総合計画基本構想・基本計画（平成27年9月29日議決、計画期間：平成28～令和7年度）
市の将来像を「ひとが輝き 創造し続ける 学園都市・米沢」と定め、その実現のために次の6項目を基本目標として設定している。

- ① 挑戦し続ける活力ある産業のまちづくり
- ② 郷土をつくる人材が育つ、教育と文化のまちづくり
- ③ 子育てと健康長寿を支えるまちづくり
- ④ 自然と都市の魅力が調和し、賑わいと交流を促すまちづくり
- ⑤ 安全安心に暮らせるまちづくり
- ⑥ 持続可能なまちづくり（協働・行政経営）

【令和7年度の行政方針】

米沢市まちづくり総合計画の最終年度となる令和7年度は、第5期実施計画に掲げた施策を着実に推進するとともに、こどもの数が増え、市民の所得が増え、誰もが暮らしやすく幸せを実感できる「好循環の米沢」の実現に向けた取組を推進する。

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備 考
実施中	新産業団地整備基本計画策定業務	R7～	14※	※令和7年度事業費
	ふるさと応援寄附金制度推進事業	H21～	2,002※	
	青果物地方卸売市場再整備事業	R7～	18※	
	南成中学校施設整備事業	R4～	4,523※	
	学校給食共同調理場整備事業	R6～	1,485※	
	診療所開設支援補助金	R6～	10※	
	乗合タクシー運行事業	H26～	75※	
	空き家対策事業	H27～	49※	
	広幡及び塩井コミュニティセンター建替事業	R5～	992※	

【長井市】

市民と行政が互いに協力し合いながら、本市の未来を共に考え、今ある豊かな自然・文化、産業、人と人とのつながりなどをしっかりと守り、未来に向かって育てていくことによって、市民が幸せを感じながら暮らせるまちを目指している。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

5年度 決 算	歳 入	歳 出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	22,615	21,996	619	555	91.0	24,817	13.2	8,226	0.43
当初予算額（一般）			令和7年度		令和6年度		前年度対比		
			18,440		17,621		4.6		

2 行政方針

【長期計画における目標】

○長井市第六次総合計画（令和6年3月21日議決、計画期間：令和6～15年度）

市の将来像「みんながしあわせに暮らせる長井」の実現に向け、5つの基本目標を定めている。

- ① 安心して健やかに暮らせるまちづくり ④ 住みやすく住み続けたいまちづくり
- ② 夢を育み元気に活躍できるまちづくり ⑤ ともに創る持続可能なまちづくり
- ③ 産業の活力あふれるまちづくり

【令和7年度の行政方針】

長井市第六次総合計画の前期基本計画をまちづくりの指針とし、基本目標の達成に向けた重点戦略に以下の3つのプロジェクトを掲げ、「一人ひとりが輝くインクルーシブなまちづくり」を共通目標に計画を推進していく。

重点戦略1 若者が活躍できるまちプロジェクト

重点戦略2 世代を超えて支え合うまちプロジェクト

重点戦略3 長井の魅力を活かすまちプロジェクト

また、人口減少や社会情勢の変化に対応するため、第2期長井市まち・ひと・しごと創生総合戦略を改訂し策定した、「長井市デジタル田園都市構想総合戦略」に掲げた施策により課題に取り組む。

「教育と子育て」のテーマを引き継ぎ、デジタルの力を活用することで、地方創生の取り組みを深化・加速化していくとともに、①ダイバーシティ・インクルーシブ社会の実現、②持続可能なまちの実現に向けたDX・GXの推進、③ライフスタイルの多様化への対応の3つの視点を盛り込み、Well-beingの向上及びSDGsの達成を目指し、事業を展開していく。

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備 考
実施中	バイオガス発電設備整備事業	R7	235	
	国内外都市交流推進事業	R7	50	
	自動運転社会実装推進事業	R7	100	
	教育相談員活用事業	R7	6	
	地方道路整備事業（舞田八景線）	R7	75	
	都市再生整備事業（東曲柳線ほか）	R7	86	
	都市構造再編集中支援事業	R7	129	
実施予定	文教の杜管理事業（大規模改修事業等）	R7	3	

【南陽市】

あらゆる世代が誇りと生きがいを持ち、安心して暮らしていくことができる社会を実現するため、ひと、もの、活動等のあらゆる地域資源をつないで、新たな付加価値を創造していくまちを目指します。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

5年度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	19,183	18,119	1,065	1,029	92.0	14,749	12.6	8,625	0.46
当初予算額（一般）			令和7年度		令和6年度		前年度対比		
			17,210		16,680		3.2		

2 行政方針

【長期計画における目標】

○第6次南陽市総合計画（令和3年3月策定 令和3年度～令和12年度）

将来都市像を「つながり つどう 縁結ぶまち 南陽」とし、実現のために1つの横断的目標と7つの基本目標を設定している。

（横断的目標）

新たな日常（ニューノーマル）の構築

（前期基本計画の目標）

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ①健やかで安心な暮らし・子育てを実現する | ②地域に根差した人材を育てる |
| ③力強い産業の基盤をつくる | ④強くてしなやかなまち・住みよいまちをつくる |
| ⑤自然の豊かさを守る | ⑥人がつながりまちを育てる |
| ⑦発信力のあるまちづくりを進める | |

【令和7年度の行政方針】

第6次南陽市総合計画前期基本計画及び第2次南陽市総合戦略の最終年となることから、達成状況の評価や検証を行うとともに、引き続き第6次南陽市総合計画の将来都市像「つながり つどう 縁結ぶまち 南陽」を基本姿勢に、市政の骨格である「子どもを産み育てやすいまち」・「年をとっても安心して暮らせるまち」・「人が集まり賑わいのあるまち」の実現に向け、各事業を展開する。

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備考
実施中	3人っ子ハッピーサポート事業	H27～	27 ※	※令和7年度事業費
	安全安心生活排水路整備事業 (浸水対策)	H27～	76 ※	
	学校・家庭・地域の連携協働推進事業 (放課後子ども教室等)	H28～	41 ※	
	ラーメン課R&Rプロジェクト推進事業	H28～	2 ※	
	南陽市自分ごと化会議事業	R5～	1 ※	
	南陽みらい議会プロジェクト	R5～	1 ※	
	健幸ポイント事業	R6～	46 ※	
実施予定	秋葉山焼損森林再生事業	R7～	4 ※	
	ひきこもりアウトリーチ事業	R7～	6 ※	
	空き店舗等対策支援事業	R7～	2 ※	

【高畠町】

高畠町町民憲章及び第6次高畠町総合計画に基づき、これまでに築いてきた伝統と基盤を大切にしながら、同時に新しい時代の価値を積極的に創造し、生き生きと躍動する町、心の通い合うまちづくりを目指している。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

5年度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	14,222	13,287	935	681	90.9	12,973	11.7	6,806	0.39
当初予算額（一般）			令和7年度		令和6年度		前年度対比		
			13,150		14,630		-10.1		

2 行政方針

【長期計画における目標】

第6次高畠町総合計画（平成30年12月基本構想議決、計画期間：平成31～令和10年度）

目指す町の将来像を、笑顔があふれ幸せを感じている心のありようや、人と人が地域の中でつながっている『ゆきかう「またね∞」 あふれる「うふふ∞」』とし、今も未来も一人ひとりが「しあわせ」を感じられる持続可能なまちづくりの実現に向けて28の基本目標を設定している。

【令和7年度の行政方針】

第6次高畠町総合計画の後期計画2年目となる令和7年度は前期計画の達成状況等の検証を行うとともに、重要度・優先度の高い施策等については積極的に事業展開を加速させ、目標の実現に向けて施策に取り組んでいく。

◆主要（重点）施策

- ①人が元気なまちづくり
- ②産業が元気なまちづくり
- ③安全・安心なまちづくり
- ④効率的な行財政運営

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備考
実施中	庁舎整備事業	R6～	697※	※令和7年度事業費
	官民協働のまちづくり事業	R6～	86※	
	高齢者生活支援事業	R7～	44※	
	新規就農者支援関連事業	R5～	44※	
	学校給食費支援事業等	R5～	57※	
	高畠高校魅力化事業	R6～	10※	
	デュアルスクール受入事業	R7～	7※	
	和田地区公民館改築工事	R7～	30※	
	システム標準化業務	R7～	120※	
	町ホームページリニューアル業務委託	R7～	7※	
	中学校部活動の地域移行推進事業	R7～	2※	

【川西町】

全ての町民、事業者、各種団体と町が、地域社会の課題の解決を図るため、それぞれの自覚と責任の下に情報を共有しながらその立場や特性を尊重し協力して取り組む「協働」の基本理念を踏まえ、老・若・子・男・女それぞれの主体の関係を深めながら「共」に新しい時代に「挑戦」・「創造」し、まちづくりを発展させる「共創」によって「協働のまちづくり」をさらに充実、成熟させる必要があることから、まちづくりのテーマを「協働」そして「共創へ」としてまちづくりを進めています。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

5年度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	12,987	12,457	530	500	93.9	14,967	12.7	6,711	0.25
当初予算額（一般）			令和7年度		令和6年度		前年度対比		
			13,740		11,880		+15.7		

2 行政方針

【長期計画における目標】

〇かわにし未来ビジョン（第5次川西町総合計画基本構想（平成27年12月議決、構想期間：平成28年度～令和7年度））

町の将来像を「緑と愛と丘のあるまち」とし、基本目標である「夢と愛を未来につなぐまち」の達成に向けて、3つの分野別目標を設定し共創による協働のまちづくりを展開する。

- ① 「集まる」まちをつくる（ひとづくり）
- ② 「楽しい」まちをつくる（ちいきづくり）
- ③ 「挑戦する」まちをつくる（しごとづくり）

【令和7年度の行政方針】

かわにし未来ビジョン（第5次川西町総合計画後期基本計画）及び川西町まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間：令和3年度～令和7年度）におけるリーディングプロジェクト並びに5つのプロジェクトを重点的に推進する。

◆主要プロジェクト

- ① 地域経済活性化プロジェクト
- ② 移住・定住・交流促進プロジェクト
- ③ 男女共同参画推進プロジェクト
- ④ 町民総活躍プロジェクト
- ⑤ 安心して暮らせるまちづくりプロジェクト

◆リーディングプロジェクト

メディカルタウン整備推進プロジェクト

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備考
実施中	子育て支援医療事業	H24～	54 ※	※令和7年度事業費
	定住住宅支援事業	R3～	5 ※	
	メディカルタウン整備事業	H28～	2 ※	
	地域振興拠点施設整備事業	R4～	961 ※	
	町有牛貸付管理事業	S56～	78 ※	
	中学校長寿命化整備事業	R6～	1,268 ※	
実施予定	にぎわいづくり推進事業	R7～	32 ※	
	しごとづくり推進事業	R7～	17 ※	
	3町連携推進事業	R7～	20 ※	

【小国町】

小国町の特性である美しく豊かな自然と、文化性を重んずる町の人々との深いかかわりによって育まれてきた独自の生活文化、生活技術、すなわちぶな文化の継承をまちづくりの根底に据え、さらに新しいぶな文化の創造と伝承に向けて、多様な人々の「協働と交流と連携」によるまちづくりを展開している。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

5年度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	8,146	7,620	526	517	91.2	7,020	12.3	4,425	0.28
当初予算額（一般）			令和7年度		令和6年度		前年度対比		
			8,780		7,000		+25.4		

2 行政方針

【長期計画における目標】

○第5次小国町総合計画 基本構想（平成31年3月議決、構想期間2019～2025年度）

「自然を愉しみ みんながわくわくする 白い森の国おぐに」をめざすべき姿とし、次の4つ基本構想の柱を基軸に、各種まちづくりを展開している。

- ① 白い森の国を担う「人」づくり
- ② 白い森の魅力を磨く「環境」づくり
- ③ 白い森を舞台とする活き活きとした「暮らし」づくり
- ④ 持続可能な行財政運営

【令和7年度の行政方針】

地方自治体を取り巻く環境や国・県の政策動向を捉えながら、「白い森まるごとブランド構想」の実現を目指し、「先を見る目」、「投資のタイミング」、「町民の意見を聞くこと」という視点から、「みんなが輝いている小国町」を展望した施策を展開していく。

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備考
実施中	白い森みらい創生事業	H29～	32 ※	※令和7年度事業費
	保小中高一貫教育支援事業	H29～	43 ※	
	地域づくり支援員導入事業 (地域おこし協力隊の受け入れ)	H27～	7 ※	
	ワカモノプロジェクト推進事業	R2～	1 ※	
	小国高校県外募集支援事業、留学生受入事業等	R2～	43 ※	
	次期総合センター建設事業	H26～	1,937 ※	
	歴史民俗資料館整備事業	R4～	5 ※	
	森林サービス産業創出事業	R4～	2 ※	
実施予定	小国町総合計画策定事業	R6～	10 ※	
	自治体D X推進事業	R6～	290 ※	

【白鷹町】

心豊かな「潤い」を源流として、人と人、人と地域、そして地域と地域とが、多様な形でつながり、生み出す新たな「対流」を的確に捉え、地域外に住みながらこの地域に関わっていく関係人口の増加や、これまでにない広域的な市町村連携を促進しながら、町民一人一人が生き生きと活躍し輝く、未来につながるまちをめざします。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

5年度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	10,241	9,554	687	686	92.2	11,061	11.8	5,264	0.27
当初予算額（一般）			令和7年度		令和6年度		前年度対比		
			9,940		9,270		+7.23		

2 行政方針

【長期計画における目標】

○第6次白鷹町総合計画（基本構想…平成31年3月策定、構想期間：令和2～11年度）

まちづくりの理念として「共創のまちづくり」を掲げつつ、次の4つの基本目標を定め、まちづくりを推進します。

1. 豊かな自然に包まれ、だれもが住みよく、安心・やすらぎを感じる「まち」づくり
2. 夢を持ち郷土を愛する「ひと」づくり
3. 地域資源を活かし、魅力と活力にあふれる「しごと」づくり
4. 地域の個性を磨き、「連携する」まちづくり

将来像 人、そして地域がつながり 輝き続ける 潤いのまち

【令和7年度の行政方針】

中央拠点と各地域拠点とを相互につなぐコンパクト＋ネットワークによるまちづくりの考え方を基本に、人材確保、脱炭素化の実現、DXの推進の視点をもって、「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」の4つの分野を施策の柱として着実に進め、暮らし・社会・経済が統合する持続可能な社会を目指すこととしています。特に、人口減少緊急対策として、住環境の整備などによる本町版「職住育近接」を実現することで、子育て世代の転出抑制および移住促進により、定住人口を確保していきます。

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備考
実施中	保育料等無償化事業	R4～	45	
	多様な人材還流促進事業	R6～	18	
	地域防災対策事業	R5～	4	
	ふるさと森林公園整備事業	R6～	2	
	デマンド型交通運行事業	R4～	18	
	地域人材ベースキャンプ推進事業	R4～	7	
	省エネ住宅促進事業	R5～	1	
	子育て支援・健康応援推進事業	R7	16	
	多世代交流型子育て支援・健康推進拠点施設整備事業	R7	39	
	集落支援員事業	R5～	29	
	森林・林業再生事業	R4～	16	
	荒砥高等学校魅力化推進事業	R4～	18	

【飯豊町】

豊かな自然環境や農山村の歴史と文化を礎とした地域のすばらしいものにこだわりを持ち、地域資源を活用した新たな産業おこしなど、町民自身の自信や誇りにつながるまちづくり、そして、この地域資源を未来ある子どもたちへ継承するまちづくりを目指します。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

5年度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	8,289	7,679	609	492	89.3	10,159	13.5	4,166	0.20
当初予算額（一般）			令和7年度		令和6年度		前年度対比		
			7,446		7,346		1.4		

2 行政方針

【長期計画における目標】

第5次飯豊町総合計画（令和3年3月4日議決、計画期間：令和3～令和12年度）

基本理念に「やっぱり、飯豊で幸せになる」、町が目指す将来像に「田園の息吹が暮らしを豊かにするまち」を掲げ、まちづくりの原点である「住民主体のまちづくり」「手づくりのまち いいで」を継承し、国際的なテーマであるSDGsの17のゴールを意識しながら、町民と行政、多様な主体との協働による持続可能なまちづくりを推進していきます。

＜施策の大綱＞

- ①人をはぐくむまち ②世代をつなぐまち ③縁をつむぐまち
- ④郷土をたがやすまち ⑤可能性をひらくまち

【令和7年度の行政方針】

令和4年8月及び令和6年7月に発生した大雨災害からの災害復旧に引き続き重点を置きつつ、「暮らし満足度No.1のまち」実現を目標に掲げ、身近な行政、頼れる行政を実感できる環境構築と新たな財源確保を積極的に進め、施策を展開する。第5次飯豊町総合計画に掲げる重点プロジェクトを中心に、「やっぱり住むなら飯豊町」の未来ビジョンを形にするため、全町民の思いを集結し、小さな町からの挑戦を続けていく。

＜重点プロジェクト＞

住民主体と協働によるまちづくり／起業・協同による仕事づくり／デジタル化の推進／美しい田園景観をみんなで未来に残そう／多極分散・循環型社会の実現／農の未来事業の推進／いいでの子大したもんだプロジェクトの推進／住民が輝き、職員も輝く

3 主要プロジェクト

※令和7年度事業費

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備 考
実施中	災害復旧事業	R5～	224.4※	
	道路新設改良事業	R7	157.8※	
	空き家対策事業	R7	61.1※	老朽危険空き家解体 工事等
	基幹業務システム構築事業	R6～	142.3※	
	飯豊で幸せになる事業	R3～	10.0※	
	地域づくり推進事業	R3～	9.6※	
	学校・家庭・地域の連携協働推進事業	R5～	7.8※	
	豪雪地帯安全確保緊急対策事業	R4～	3.8※	
	家庭保育支援事業	R5～	1.5※	
	持続可能な森林づくり事業	R5～	15.1※	

16 地域指定

◇地域指定の状況

指定区分 (関係法令)	米 沢 市	長 井 市	南 陽 市	高 畠 町	川 西 町	小 国 町	白 鷹 町	飯 豊 町
特別豪雪地帯 (豪雪地帯対策特別措置法)	○	○	○	○	○	○	○	○
過疎地域 (過疎地域自立促進特別措置法)					○	○	○	○
振興山村地域 (山村振興法)	△		△	△	△	○	△	△
辺地を有する市町 (辺地に係る公共的施設の総合整備のた めの財政上の特別措置等に関する法律)	○			○	○	○	○	○
電源地域 (発電用施設周辺地域整備法)		○				○	○	○
水源地域 (水源地域対策特別措置法)						○		
地方拠点都市地域 (地方拠点都市地域の整備及び産業業務 施設の再配置の促進に関する法律)	○	○	○	○	○	○	○	○
特定農山村地域 (特定農山村地域における農林業等の活 性化のための基盤整備の促進に関する法 律)	○	△	△	△	△	○	△	○
地域未来投資促進地域 (地域経済牽引事業の促進による地域の 成長発展の基盤強化に関する法律)	○	○	○	○	○	○	○	○

注：△は、一部指定

資料：山形県市町村概要（令和6年刊）

17 置賜地域の市町一覧

◇置賜地域の市町一覧（令和7年5月31日現在）

	米沢市	長井市	南陽市
所在地	米沢市金池五丁目2番25号	長井市栄町1番1号	南陽市三間通436番地の1
郵便番号	992-8501	993-8601	999-2292
電話番号	0238-22-5111	0238-84-2111	0238-40-3211
FAX番号	0238-22-0498	0238-83-1070	0238-40-3242
市長 (任期満了日)	近藤 洋介 (R9. 12. 21) 1期目	内谷 重治 (R8. 12. 14) 5期目	白岩 孝夫 (R8. 7. 29) 3期目
副市長 (任期満了日)	吉田 晋平 (R11. 3. 31) 1期目	齋藤 環樹 (R11. 3. 31) 2期目	大沼 豊広 (R8. 12. 31) 3期目
議員定数 (任期満了日)	24人 (R9. 4. 30)	16人 (R9. 5. 4)	16人 (R10. 3. 31)
議会議長	島軒 純一	内谷 邦彦	遠藤 榮吉
議会副議長	古山 悠生	梅津 善之	島津 善衛門

	高畠町	川西町	小国町
所在地	高畠町大字高畠436番地	川西町大字上小松977番地1	小国町大字小国小坂町二丁目70番地
郵便番号	992-0392	999-0193	999-1363
電話番号	0238-52-1111	0238-42-2111	0238-62-2111
FAX番号	0238-52-1543	0238-42-2724	0238-62-5464
町長 (任期満了日)	高梨 忠博 (R8. 4. 23) 1期目	茂木 晶 (R10. 4. 28) 1期目	仁科 洋一 (R10. 8. 1) 3期目
副町長 (任期満了日)	深瀬 吉弘 (R9. 1. 31) 1期目	島貫 啓一 (R10. 5. 31) 1期目	阿部 英明 (R10. 12. 31) 2期目
議員定数 (任期満了日)	15人 (R9. 8. 31)	13人 (R9. 4. 30)	10人 (R9. 4. 29)
議会議長	関 陽介	鈴木 幸廣	安部 春美
議会副議長	武田 修	遠藤 明子	遠藤 和彦

	白鷹町	飯豊町
所在地	白鷹町大字荒砥甲833番地	飯豊町大字椿2888番地
郵便番号	992-0892	999-0696
電話番号	0238-85-2111	0238-72-2111
FAX番号	0238-85-2128	0238-72-3827
町長 (任期満了日)	佐藤 誠七 (R10. 10. 25) 5期目	嵐 正人 (R10. 11. 6) 1期目
副町長 (任期満了日)	田宮 修 (R8. 3. 31) 1期目	西嶋 康平 (R11. 3. 31) 1期目
議員定数 (任期満了日)	12人 (R9. 4. 30)	10人 (R9. 8. 5)
議会議長	菅原 隆男	菅野 富士雄
議会副議長	関 千鶴子	屋嶋 雅一

18 第4次山形県総合発展計画 置賜地域の発展方向（概要）

1 置賜地域の発展方向（目指す姿）

- 地域の技術力を結集したイノベーションにより新たな価値が創出され、ブランド力を活かして産業の収益力が向上している。
- 「人生100年時代」の到来に向け、多様な主体と連携した健康づくり活動拠点の形成が進み、誰もがいきいきと活躍できる地域づくりの取組みが進展している。
- 宮城・福島両県や関東・首都圏との近接性を活かした「県南ゲートウェイ」としての発展基盤の確立に向け、交通アクセスの強化が進展している。

2 地域の発展に向けた主な取組み

（i）「置賜」地域の総合力を結集した高付加価値産業群への進化

- 地域の基幹産業である製造業の競争力強化に向けた新たな強みや特色の創出を促し、ものづくり企業間のネットワーク強化や産学官金の連携により地域の稼ぐ力を向上していく。
- 園芸作物や米沢牛等のブランド力強化、道の駅など観光分野との連携強化により、「農と食」の魅力を高め、これを支える収益性の高い産地を形成していく。
- 置賜地域を彩る「花々」や米沢牛・地酒・ワインなどの「美食・美酒」、冬の魅力としての「雪」など、置賜ならではの資源を戦略的に活用した誘客の促進とインバウンドの拡大を推進していく。

（ii）「置賜」の持続的発展を支える、活力あふれる地域社会の形成

- 市町との連携による広域的な結婚支援活動を展開するほか、妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援体制を充実させていく。
- 米沢栄養大学をはじめ多様な主体と連携・協働しながら、高齢者はもとより幅広い世代が住み慣れた地域で、健康かつ安心して暮らせるための取組みを推進していく。
- 若者と地域の活躍人（びと）、UIターン者との交流の機会を提供するなど、置賜に対する愛着と誇りを醸成し、互いに輝きあう地域づくりを推進していく。

（iii）人々の交流で賑わう「置賜」を支え、地域の価値を高める社会基盤の形成

- 新潟山形南部連絡道路の早期整備に向け、隣県等との連携を強化するとともに、一般国道287号米沢長井道路の整備を進め、置賜地域の高速交通ネットワークを充実、強化していく。
- フラワー長井線など地域公共交通の充実を図り、住民の利便性を向上させるとともに、関係交流人口の創出・拡大を加速していく。
- 置賜の地域資源を活かした風力発電やバイオマスなど再生可能エネルギーの導入促進による脱炭素社会の形成を推進していく。